

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課 **教育委員会事務局日光公民館**

2. 指定管理施設概要

Table with 2 columns: 施設名, 名称, 所在地, 指定管理者, 名称, 代表者名, 住所, 指定期間, 平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日, 5年間, 選定方法, 公募, 評価実施年, 5年間のうち5年目, 施設設置目的, 市民の健全な心身の育成とスポーツの普及振興に資することを目的に設置。また、スポーツ施設、誘客・冬季活性化施設等としての位置づけられ、日光市のスケート文化を継承する場となっている。, 主な実施事業, 大会支援事業(日光霧降スケートセンター杯、バジレット、社団法人日光成年会議所学童スピードスケート、冬季国体スピードスケート競技県予選会、高体連中部地区スピードスケート選手権大会、全国中学スピードスケート競技選手権予選会、栃木県チビっ子スプリント大会、栃木県スピードスケート選抜大会、小学生記録会、県下中学・高校総体スピードスケート競技、チビっ子スピード競技、栃木県スピードスケート競技選手権大会、日光霧降スケートセンターゴールドスピードスケート大会、青森県対栃木県スピードスケート交歓会選手権大会、全日本学生氷上競技選手大会(スピードスケート競技)、青森県対栃木県小学生スピードスケート交歓会、チビっ子スピード記録に挑戦する会、全国高等学校スケート競技選手権大会、関東高校選手権大会)、スケート教室事業(ワンポイントレッスン、団体利用ボランティアインストラクタースケート教室)、利用促進事業(オープン日無料開放、スケートの日無料開放)、飾花事業(プランター設置)、施設有効活用事業(日光彫体験教室、ふくべ細工絵付け体験教室、自動車イベント、安全啓蒙スタジアム試乗会)

3. 利用状況(目標と実績)

Table with 12 columns: 成果指標, 単位, 平成26年度(目標, 実績), 平成27年度(目標, 実績), 平成28年度(目標, 実績), 平成29年度(目標, 実績), 平成30年度(目標, 実績). Rows include: a 基礎コース/スピードスケート教室の開催 (日), b 利用者の満足度 (%), c 光熱費削減 (%), d 収入増加(入場者) (人), e 環境配慮率先行計画への取り組み (%).

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

Table with 6 columns: 区分, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度. Rows include: 収入計 A, 指定管理料, 利用料収入 C, 自主事業収入, その他, 支出計 B, 指定事業費, 内人件費 D, 内外部委託費 E, 自主事業費, 事業収支 A-B, 人件費率 D/B, 外部委託比率 E/B.

※着色セルは、自動計算としている。

Table with 2 columns: 補足説明, (空欄)

サービス改善の状況

平成29年度より使用出来ない状態の教護室を、レンタルハウスを利用して平成30年度は、オープン時から利用可能になりました。また、栃木県スケート連盟と協議しながら大会前や大会期間中の防護マット常設等、利用者の要望を聞き大会運営に支障のないように努めました。更に早朝練習の早開け及び要望による整水作業等、利用者の要望を最大限聞き入れ対応した。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B A A	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	C B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B A B	C B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B B B	B B B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	B C B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B B B	B B B B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	C
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	C
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	C
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B	C
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) 施設管理目標として、事故0を目指してきましたが、大きな事故もなく無事に期間を終えた事が良かったと思います。年々、機器の経年劣化や、地球温暖化の影響でスケートリンクの維持管理に支障が出てきていますが、適切なメンテナンスや保守点検等を行い利用者様に喜ばれる施設管理が行えたと思います。また、経費削減にも努め、電気使用量は暖冬にも関わらず昨年同様の使用量に抑えることが出来ました。しかし、リンク利用者数及び売上高にしまして少影響なのか、当初目標よりも落ち込んでしまいました。			
	(所管課評価) ・インカレ開会期間、公社の他の施設から応援体制をとって、リンクの整水作業に力をいれていただき、大会記録、リンクレコードを残すことができた。 ・電力消費量の削減に取り組んでおり評価できる。 ・小学生などのスケート教室の利用について営業をもう少し頑張ってもらいたい。 ・夏季期間の駐車場利活用の検討など自主事業についてももう少し提案が欲しい。			
前年度総合評価	B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。 B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。 C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。	
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。